

やまたらけ

YAMADARAKE

JUNE
No. 65
2014

雨畑茶にかける情熱 雨畑製茶工場の人々

5月中旬。早川町の一大イベントである山菜祭りが終わり、山々の緑が一層美しく映えてくる季節。雨畑中のお茶畑が黄緑色に染まり、五月晴の青空と相まって目の覚めるようなコントラストを織りなす。この頃になると雨畑に住む人たちは少しずつ慌ただしくなる。

雨畑茶は、硯島村誌(明治時代)にも記載されている。雨畑地区を代表する産物の一つだ。「雨畑」の名前通り、この一帯は雨が多いが地質は砂利が混ざった傾斜地で水はけが良く、寒暖の差があり霧が良く発生することなどから、お茶栽培に適した環境である。

雨畑茶は主に、自家消費用に生産されている。加工は必要最低限しかない荒茶で、茶葉そのものの風味を味わう事ができる。雨畑では傾斜地で大規模所有でもないため、手摘みで丁寧に収穫され、また無農薬で栽培されているため安心・安全に飲むことができる。

そうして収穫された茶葉を加工するのが、雨畑茶業組合である。お茶のシーズンである5月中旬から2週間ほどの短い期間だけ工場を稼働する。今回は、そのお茶工場に密着した。(加藤恒介)

表紙写真：馬場集落の斜面に広がるお茶畑



お茶工場全景。工場は本村集落のはずれにある。
工場の周辺にもお茶畑が広がる。

5月10日の朝、本村集落にあるお茶工場（こうば）の掃除のため、数名が集まった。約一年間閉じられたままだったシャッターが開かれる。工場の中が、ぼんやりと緑がかった見える。これまで、沢山のお茶を加工してきたことを物語っている。

現在のこの工場は、昭和47年に建設された。最盛期には20tを越える生葉を3週間弱で加工したが、その後生産量は減少し、近年は5t前後の生葉を2週間前後で加工する小さな加工場である。

埃を払い、機械の調子をチェックし、道具の日干しをして、一息入れている時の皆さんの会話は、もちろん

今年のお茶の出来について。今年は大雪の影響もあり、少し予想が難しいようだ。

掃除が終わると、いよいよお茶工場が稼働する日も近い。

無農薬・手摘みが 雨畑茶のこだわり

5月16日、この日は雨畑茶業組合の現組合長、天野元さんのお宅でお茶摘みがあった。元さんの住む老平集落は、昔から最も茶葉の生産量が多い集落だ。

近隣の親戚が集まって、計6名で夕方までかけて60kgを摘むという。元はこんなにやく畑だったというこの畑は、かなりの急斜面である。そんな足場でも、皆さんは慣れた手つきで次々に葉を摘み取っていく。

「無農薬で栽培しているので安心して飲める。摘む時も機械ではなく手摘みだから、枝や古い葉も混ざりにくい」と教えてくれた。

元さんは工場で働き始めて6年程になるが、働き始めてからお茶に対する意識も変わったという。

「以前は固定作業的にお茶を作っ



急傾斜地で栽培されるお茶。手摘みにこだわる家がほとんどで、1日から数日がかりの重労働。隣近所、親戚などが協力する、昔ながらの「ゆうげし（結返し）」の精神が今も息づいている。



眠りから覚めた工場。太陽の光を浴びる道具達。スタッフには、今年もまたお茶が作れる喜びと、いいお茶に仕上げねばならないプレッシャーが入り交じる。



左がザイライ
右がヤブキタ

ザイライの畑

現在、雨畑では「ヤブキタ」という、ごく一般的な品種が主流である。昭和30年代に持ち込まれ、葉が大きく収量が多いため普及した。それ以前は「ザイライ」と呼ぶ在来種が主。葉が小さく収量は少ないが、まるやかで渋みの少ないさっぱりとした味わい。この風味を好み、今も作り続ける人もいる。

雨畑茶の製造工程 | 荒茶 /



① 生産者から受け入れた茶葉。黒板に名前と量を記録する。基本1ロット30kgの生葉で回転させる。



② 茶葉を蒸機に入れ、蒸気を当てて蒸し、葉の酸化を止める。



③ 蒸した茶葉を冷却し、粗揉機(そじゅうき)という機械で熱風を当て、水分を飛ばす。



⑥ 精揉機(せいじゅうき)で形を整える。



中揉機から出て来た茶葉



④ 揉捻機(じゅうねんき)にかけ、葉を揉みながら、葉中の水分を均一にする。ここが、お茶の味を決める重要な行程。



⑦ 仕上げに乾燥機で約30分乾燥させる。最後に、切断機で短く切って完成。

荒茶が出来るまで、約4時間。30kgの生葉から出来る荒茶は、生葉の1/5程度(約6~8kg)。

雨畑の工場はここまでの加工だが、荒茶を更に加工すると、一般的に出回っている煎茶になる。



⑤ さらに中揉機(ちゅうじゅうき)で乾燥。



揉まれて丸くなった茶葉

4人の連係プレーが雨畑の誇りを生む

5月17日、工場は早朝から稼働し始める。生産者から受け取った茶葉を、発酵する前に加工するためだ。

粗揉機を担当している根本善文さんは、2年前から工場で働き始めた。「自分の母親も、この工場を受付として働いていた事がある。加工量は今よりもずっと多く、一晩中工場が稼働していたが、工場に入ってから茶葉のことが分かるようになり、良いお茶を作りたい、と思うようになった。そのためには加工の技術はもちろんだが、日々の畑の管理も大切」と考えるようになった。



天野 元(あまのはじめ)66才 早川町役場を退職後すぐに、雨畑茶業組合の副組合長となり、工場でも働き始めた。その後、組合長になり、今年で3年目。

「雨畑茶で一番誇れるところは、何と言っても無農薬など。親戚にも安心して配る事ができ、とても喜ばれる。昔より生産が減っているとはいえ、今も長く続いていると思う。工場の仕事はえらい(きつい)、の意。今年はやろうか悩んだけど、結局やることにした」

働いているほどだった。昔はウチでも茶摘みをしていて、生葉で約60kg出来たものは親戚に配ったりした。昔より生産量が減りつつも、今もお茶が生産され続けているのは、雨畑の人々が雨畑茶に誇りを持っているからだ、と善文さんは考える。

工場は基本的に4人の人手が必要になる。誰か一人足りないだけでも、お茶を作る事は出来ない。責任は重い、やりがいのある仕事でもある。

仕上げの茶葉の切断を受け持っているのは望月一誠さん。工場で働いて15年以上の大ベテ



根本 善文(ねもと よしふみ)62才 七面山での勤めを終え、昨年より工場に働き始めた。既に工場にとって欠かせない人材。



【上】澤村さんが、工場の窓にはり紙をし、紅茶の加工を呼びかけた。【左】呼びかけに応え、今年は3軒が、紅茶加工用の茶葉を持ち込んだ。



【上】完成した荒茶(切断前)。良い香りが漂う。【左上】切断したお茶は、袋に詰め生産者の名前が書かれる。【左】ちょうど生産者の方が、完成したお茶を受け取りに来た。おばあちゃんは、ネコに二袋のお茶を摘んで、自宅へ帰っていった。みんな、とても嬉しそう。

【右、下】昨年、施策した紅茶。茶葉は赤みがかっており、甘い香りがして、苦みやえぐみもなく、すっきりと飲みやすい。



望月 一誠(もちづき いっせい) 75才
工場で働き始めて15年以上。組合長を務めたこともある。機械の使い方を最も良く知る最古参。

ラン。

「雨畑の人に
とって、今もお

茶摘みが一年
で最大の行事
ではないか。自
分たちが一年
を通して飲むお茶を作る、大切な仕事。組合長を務めていた時から、製茶の時は不公平の無いように、出来る限り多くのの人に喜んで貰えるようなやり方をしてきた」と語る一誠さん。

「細やかな加工ができる」という点では、今の生産量が雨畑の工場に一番合っている、と考える事もできる。小規模で生産しているからこその利点である。

工場で働き始めて数年で、精揉機を任されるようになり、4年前に工場長となった。

「今は、良いお茶を作りたい、雨畑の特産品を無くしたくない、という使命感を持っている。この工場が他の工場と違う点は、持ち込まれた葉を、他の生産者の葉と出来る限り混ぜない事。畑の状態によって葉の特徴も変わるので、それに適した加工ができる」

紅茶づくり に 雨畑茶の未来を託す

緑茶の加工が全て終わった5月24日、現工場長の澤村義之さんが独り工場にいた。町外から移住してきた澤村さんが、工場で働き始めたのは8年前。若い人材が少なくなる中、貴重な担い手として関わり始めた。



澤村 義之(さむら よしゆき) 46才
14年前に早川町に移住。普段は林業に従事しているが、同時に硯の里キャンプ場の管理人も務める。雨畑茶工場の現工場長。

今年、工場では紅茶の加工を受け付けた。きっかけは昨年春の霜害だった。季節外れの霜が降りたせいで、澤村さんの管理する茶畑では芽がばらばらに生えてしまい、とても緑茶を作れる状態ではなかった。そこで、その葉でも利用可能な紅茶の加工を試みた。

「今は全国的に緑茶の消費量が



▲工場の後片付けが終わり、一服中の4人。
疲労感の中にも、充実感がにじむ。

減っているし、安い粉茶などが売れるようになってきている。荒茶で売れるものを作るのは難しくなっている。この工場で売れるモノを作りたい。目玉商品ができ、生産者側にもっとやる気が起きてくれば良いと思う」

働き始めた時期もきつかけも、それぞれ異なる工場の皆さんに共通しているのは、「良いお茶を作りたい」として「雨畑茶を残したい」という想いだ。摘み手の不足や高齢化という問題を抱えつつも、関わる人たちの強い想いがある限り、これから雨畑茶は地域の特産品であり、宝であり続けるだろう。

澤村さんが中揉機を回すと、紅茶の香りが辺りに漂う。今年の製造はこれで終わりを迎え、工場は来年まで静けさを取り戻す。

早川旬の直送便

雨畑茶を原材料に使用した早川の美味しい物産を紹介します。
完全無農薬の茶葉を、手摘みで丁寧に収穫した、希少な雨畑茶。

美味しい雨畑茶を原材料に使用した、バリエーション豊かな早川町のお茶菓子も、どうぞ合わせてご賞味ください。

会員価格は、早川サポーターズクラブ、及びNPO法人日本上流文化圏研究所の会員に適用されます！

<http://shop.joryuken.net/>

直送便ウェブサイトでは、その他の商品も販売しております。
会員割引も適用できますので、ぜひご利用下さい。

希少な雨畑茶、
ご注文はお早めに！

① 雨畑新茶

内容／100g
価格／一般1,070円＋送料
会員960円＋送料
発送／注文順に発送
受付／商品無くなり次第締切
※物産会員の方は、定期便の中でお届けします。



人気の菓子工房ヤマセミ手作り
シフォンケーキを、クール便でお届け！

② 雨畑茶とあずきのシフォンケーキ

内容／ホール6号
(直径18cm、6～8人用)
価格／一般2,700円＋送料
会員2,430円＋送料
発送／注文順に発送
受付／通年
※前号は初回特別価格による
限定販売でした。こちらは通販
用の通常価格販売となります。



【お知らせ】6月より、早川旬の直送便(本紙上及び、インターネット上の直送便サイトでの物産販売)は、早川町黒桂(つづら)の「たつみや(代表:池田良)」が実施いたします。今後、商品の発送元、代金の入金先、サイト上の注文先が、たつみやに順次切り変わりますので、ご了承下さい。なお、本紙上で紹介した物産に関する電話、FAX、メールでのご注文先は、引き続き下記事務局となります。

③ おばあの茶っば焼き

内容／10個入り×2袋
価格／一般1,080円＋送料
会員970円＋送料
発送／注文順に発送
受付／通年



早川町内の宿泊施設や、
南アルプスプラザでも、
お土産として好評発売中！

④ 雨畑茶の零ゼリー

内容／160g入り×2袋
価格／一般700円＋送料
会員630円＋送料
発送／注文順に発送
受付／通年
※冬期販売休止となる場合あり



雨畑茶を飲みながら、
雨畑茶のアイスを食べる。
それは至福の時。

⑤ 雨畑茶の アイスクリームセット

内容／1カップ100ml×6個
価格／一般1,860円＋送料
会員1,680円＋送料
発送／注文順に発送
受付／通年



【ご注文・お問い合わせ先】 NPO法人 日本上流文化圏研究所(早川サポーターズクラブ事務局、やまだらけ編集部)

TEL. 0556-45-2160(9:00～17:30) FAX. 0556-45-2268 E-mail shop@joryuken.net

注文者氏名、住所、電話番号、お送り先氏名、住所、電話番号、商品名、数量をご連絡下さい。ファックス、メールの場合、折り返しご連絡いたします。3日が経過しても連絡がない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。支払いは、商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振込みください。

送料の目安:普通便(ゆうパック)607円～、冷蔵便(ゆうパックチルド)887円～、冷凍便(ヤマト運輸クール)972円～で、東北、近畿、中国、四国、北海道、九州、沖縄は+300円～600円程度追加料金が発生します。また、大きさや量によっても追加料金が発生する場合がございますのでご了承下さい。正確な送料は、注文後、こちらからお知らせします。

6/7-22

小森由美子 写真展

～日本一人口が少ない町へ山村留学～

山村留学で早川町に移住して来た小森さん。早川の中でふれあった、早川町の人々や子供たちを撮影した作品を展示します。



自然豊かな山梨県早川町、廻る四季は自然の素敵さを教えてくれます。季節を感じながら、地域の人達と過した経験は、おそらく彼らの宝物となったはず。我ら親子が、ここで触れ合ったものは、なにもかも最高！子供たちの表情を通してそんな思いが伝われば嬉しいです。

小森由美子／東京工芸大学(旧写真大学)卒業

会 期／6月7日(土)～22日(日) 10時～17時(入場無料)

※月曜・火曜は休館日

会場内に記念写真撮影コーナー(有料)を設置します！

7/5-21

三枝史博 絹彩画展 ～起動～

絹の布を使って描かれる絹彩画。繊細で美しい色彩とオリジナリティーに満ちた、三枝史博氏の魅力的な作品を展示します。

三枝史博プロフィール

1985年東京に生まれ、自然豊かな山梨で育つ。恵まれた環境の中、感性を磨かれ、「思いを形にする」喜びと楽しみを幼い頃より学ぶ。

自分なりの表現を模索し続け、2013年、伝統ある着物と木目 込み人形の技法から生まれ、「描く 作る」両方の楽しみを兼ね揃えた絹彩画と運命的な出会いを果たす。絹彩画と共に歩んで行く事を決意した今「起動」の名の元、発進していく。



会 期／7月5日(土)～21日(月) 10時～17時(入場無料)

※月曜・火曜は休館日(祝日の場合は開館、水曜日休館)

問い合わせ先「はやかわ創造空間 COCOROTO」

住所：山梨県南巨摩郡早川町保 1525

電話：0556-45-2770 E-Mail: cocoroto.cs@gmail.com

展示会の様子 <http://cocoroto.cocolog-nifty.com/blog/>

早川町在住の現代美術家・木村崇人さん展示会情報

7/5-8/24

喜多方市美術館企画展

デイリリー・アート・サーカス2014

デイリリー・アート・サーカスとは東日本大震災の被災地域へ、西日本からトラックにアート作品を詰め込み、日本列島を横断しながらチャリティー展を行い、その収益金を全て被災地に寄付し、最終的に被災地域会場で皆さんに無料で楽しんで頂く展覧会です。福島県喜多方市で開催される企画展の中で、木村さんがワークショップを開催します。

デイリリー・アート・サーカス2014

会期／7月5日(土)～8月24日(日)

会場／喜多方市美術館

木村さんワークショップ

「こもれびをたべる動物になるう！」

内容／ピンホールカメラの原理を利用

したマスクを作って、不思議な風景を見てみます。

日時／7月12日(土) 13:30～15:30

定員／15名(要予約) ※予約は喜多方市美術館(☎0241-23-0404)まで



7/5-8/24

『Beyond the Border - プリントってなあに?』展

関連イベント&市原湖畔美術館 1周年記念イベント

大空に浮かぶレジャーシートをつくろう!

木村崇人さんと一緒に、高滝湖畔周辺の自然や文化を取り込んだ、参加者たちを等身大で写す日光写真を撮影し、7m×7mの大きな日光写真のレジャーシートを作ります。その上で、当館の1周年記念を祝ってピクニックをします。運営をお手伝いして下さるボランティアも募集します!

日 時／8月3日(日) 10:00～16:00

場 所／市原湖畔美術館

料 金／大人1,000円、子ども600円

※食事代・参加料込み

持ち物／自分の宝物や思い出の物。思い

出のものといっしょに等身大の写真を撮ります!

定 員／50人(先着順) ※電話(0436-98-1525)またはメール(event@ism-ichihara.jp)にてお申し込みください。



詳細は右URLをご覧ください。 <http://ism-ichihara.jp/event/>

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 蓬萊館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島 73
TEL: 0556-48-2211(代)/FAX: 0556-48-2366

奈良田温泉
七不思議の湯
白根館
日本秘湯を守る会々員

〒409-2701 山梨県南巨摩郡早川町奈良田 344
電話 0556-48-2711
FAX 0556-48-2770
www.nukuyu.com/shiranekan/

毎分 1,630ℓ 湯温 52℃の樹刺自噴火温泉では日本唯一を誇る新湯湧出
全てのお風呂、客室風呂、給湯、シャワーに至るまで 源泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿
西山温泉 慶雲館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111
FAX 0556-48-2611 <http://www.kefukun.co.jp>

早川町 望月石材店
☎0556-45-2601

身延町 飯富展示場
☎0556-42-4440

〒400-0606 山梨県南巨摩郡富士川町寺谷 4249
電話 0556-27-0224
ファクシミリ 0556-27-0227

十谷上湯温泉
源氏の湯
日本秘湯を守る会々員 www.nukuyu.com/genji-yu/

新築、改築、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル
望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1792
TEL.0556-45-3016 FAX.0556-45-2661(工場)

7/26-27

8/23-24

夏休みファミリーキャンプ
「昔なつかし体験しよう」

早川町で、昔なつかしキャンプを体験しませんか。竹で水鉄砲をつくったり、清流で思いきり遊んだり。昔ながらに薪と釜でごはん炊きにも挑戦。夜には明かりのない暗い森の中に探検に出かけます。

今の暮らしでは、なかなかできなくなったことに、家族で挑戦！コテージ泊なので、小さいお子様連れでも安心です。

日程／①7月26日(土)～27日(日)

②8月23日(土)～24日(日)

対象／5歳以上

※5歳未満のお子様のご参加については、ご相談ください。

参加費／大人9,000円

子ども(小学生以下)7,000円

※3名様以上の参加の場合は1,000円割引。参加費には宿泊代、プログラム費、食費(3食)、障害保険料、入湯税が含まれます。

定員／7組 ※①7月21日(月)、②8月18日(月)までに要申込



7/29-31

夏休み子どもキャンプ
「川で！森で！思いっきり遊ぼう!!」

日本のマチュピチュとも呼ばれる早川町・茂倉集落。山の斜面に家や畑が並ぶこの場所にある旧分校に泊まって、川で森で思いっきり遊びましょう。

山里に暮らす達人たちから遊びや暮らしの知恵を教わりながら、わんぱく少年少女を目指す3日間。期間中はキャンプのプロがお子様をサポート。この夏一番の思い出を早川町で作しましょう！

日程／7月29日(火)～31日(木)

対象／小中学生

参加費／30,000円(2泊6食付)

※参加費には宿泊代、プログラム費、食費(6食)、障害保険料、入湯税が含まれます。

定員／20名 ※7月22日(火)までに要申込

JR身延線「下部温泉駅」または高速バス「飯富停留所」からの送迎をご希望の方は事前にご相談ください。早川サポーターズクラブ会員は、いずれも1割引にてご参加いただけます。



豪華賞品？が当たる
やまだらけクイズ！43

問：現在、雨畑で作られているお茶の大部分を占める品種は何でしょう。

答：1、アメハタ
2、ヤブキタ
3、ザイライ

正解者の中から抽選で3名様に、雨畑紅茶(試作品)をお送りします！締め切りは、平成26年7月15日(消印有効)です。

※専用の回答用はがきをお持ちでない方は、官製はがきに回答と。お名前、ご住所、電話番号をご記入の上、お送り頂いても構いません！

前回のクイズの正解は、3の「将棋」でした。抽選の結果、岩瀬忠篤さん(市川市)、小牧祐子さん(甲府市)が当選しました！

申し込み/問い合わせ先 南アルプス生態邑「野鳥公園」
【野鳥公園】TEL/FAX: 0556-48-2288 E-mail: yacho@hayakawa-eco.com
【ヘルシー美里】TEL: 0556-48-2621 FAX: 0556-48-2622 E-mail: info@hmsato.com

早川のいいもの、うまいものが大集合！
はやかわトラねこ市2014
開催日程が決まる！

トラックとねこ(一輪車)で、町の特産品や農産物、工芸品、雑貨などを販売する「はやかわトラねこ市」。今年も下記の日程で開催します。パワーアップを続けるこの朝市へ、ぜひお越しください！

6月15日 ミニトラねこ市 会場：麓の直売所

7月20日 大トラねこ市 会場：俵屋旅館

8月17日 ミニトラねこ市 会場：麓の直売所

9月21日 ミニトラねこ市 会場：麓の直売所

10月12日 大トラねこ市 会場：湯島の湯

※いずれも開催時間は、9時から12時まで

早川町観光



問い合わせ先「早川町観光協会」
住所：山梨県南巨摩郡早川町葉袋 430
電話：0556-48-8633
一緒に市を盛り上げてくれる出店者も募集中！
興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい！



浜田屋商店
電話 0556-48-2311

早川町で感動体験を・・・
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
<http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/>



霊峰七面山の登山口であなただけの旅を支える

株式会社
俵屋観光
バス ジャンボタクシー

有限会社
俵屋旅館
宿泊 宴会 法事などに

〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荊沢 1356-1

防災用品
非常用アルファ米・保存水・発電機
簡易トイレ・防災用毛布・テント等

オフィス事務機(有)

〒409-3244
山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077
TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川砂利協同組合

理事長 井上 聡一郎
山梨県南巨摩郡早川町小縄 26
電話 0556-45-2450



はやかわ
おもいで
アルバム

-1-

昭和初期の 雨畑硯製造組合作業場

雨畑のもう一つの特産品、雨畑硯にまつわる写真

良質な硯として知られる雨畑硯。起源は鎌倉時代。日蓮聖人の弟子、日朗上人が七面山開山の帰路、雨畑川上流で蒼黒い石を見つけ、それを地元の人に彫らせたところ、良質な硯が出来たという。江戸時代、その質が評価され全国的に知れ渡り、明治時代、硯の需要の高まりとともに最盛期を迎え、雨畑地区に一〇〇名以上の硯職人がいたという記録が残る。

写真は、昭和初期、本村集落にあった雨畑硯製造組合の作業場の様子。組合は、本村の旧家が立ち上げ、原石採掘から製造・販売まで行なった。本村とその周辺の職人が10名程集められ、事に当たった。作業場は本通りに面し、薔薇の生け垣の隙間からは、職人たちが黙々と作業する様子が窺え、硯を彫るゴリゴリという音が聞こえた。

組合は、組合長の家族が本村を離れるのを機に一代で幕を閉じた。職人は個々で製作を続けたが、やがて戦争、需要の低下などにより衰退。現在、職人は一人であるが、上質な雨畑硯が多くの人々に愛されている。事実は変わらない。(佐藤晴旦)

読者の声

● 私は今76歳で埼玉にありますが(茂倉出身で)、中学校を卒業し就職するまでの1週間ほど、アルバイト的に(茂倉鉱山で)働いたことがありました。鉱山の入り口、事務所の場所、社の場所、トロッコ道から架線場など、実に良くよみがえってきました。(白岡町Mさん)

編集部:働いてらっしゃった方からお便りを頂くと、驚きとともに感動しました。補足・追加情報がありましたら、ぜひお寄せ頂けると助かります!

● 茂倉鉱山の2回にわたる特集、感動しました。そこで働く男の人達が、とてもかっこよかったです。写真から男の中の男を感じ、ちょっとやそっとのことではくじけちゃならね〜、と思いました。(島田市Tさん)

編集部:鉱山に限らず、当時の方々は、今からは想像

もできないくらい重労働にも耐え、厳しい環境の中でたくましく生きて来たんだと思います。だから、早川のおじいちゃんたちは、本当にかっこいいですよ。また、その辺りも特集できればと思います。

● 「おばあちゃんのレシピ」に掲載されていた芋茎の煮物。先日届いた物産詰め合わせに入っていた「島根芋の芋茎」で、早速試してみようと思います。次号、雨畑茶も楽しみです。茶関連商品もあわせて紹介してください!(甲府市Kさん)

編集部:芋茎の煮物、想像通りの味だったでしょうか?今号では、お茶関連製品もたくさん紹介させていただきます。ぜひ、ご活用下さい。

なお、これまで毎号掲載して来た「おばあちゃんの試してレシピ」ですが、都合により今年度から隔月での掲載となります。楽しみにされていた方には申し訳ありませんが、なにとぞご了承下さい。

■NEXT やまだらけ

66号特集(8月上旬お届け)

「まったり 山のカフェめぐり」

早川サポーターズクラブの会費が原資となっている「あなたのやる気応援事業」にて、昨年度、食事処やませみに、菓子工房ヤマセミのケーキが食べられるカフェスペースが完成しました!

これを記念して(?)、次号では、早川町内の素敵なカフェを一挙紹介します。夏から秋にかけて、ゆったりと、そしてまったりと山のカフェを巡ってみませんか。

地域発展のお手伝い!地域の暮らしを守る!

早邦建設株式会社

小瀬治山工事

【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288
【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700
http://www.soho3000.com/

かぜのでんわ

いもとようこ 作絵
定価(本体1,400円+税)

山の上に置かれた電話線のつながっていない電話。大切な人をなぐした人たちが訪れ、想いを伝えます。大槌町の実話を元にした絵本。

ISBN978-4-323-02451-6

金の星社 東京都台東区小島1-4-3 〒111-0056
TEL.03-3861-1961 FAX.03-3861-1507

山梨県

子育て 応援します

やまなし子育て応援カード協賛店

月禾堂 TEL(0556)22-0445

ぶんぐの森へようこそ

私自身も雨畑に住んでいるので、シーズン中の土日はお茶工場を手伝っています。そこでの仕事はかなりハードなのですが、関われる事に誇りを感じます(今年はぎっくり腰に...)。茶畑を持ってはいませんが、毎年のお茶の出来は気になります。お茶に対する、皆さんの想いを取材した後には飲むお茶の味は、また格別でした。(加藤恒介)

山を覗けば宝の山
【やまだらけ】

発行元/フィールドミュージアム運営委員会
NPO法人日本上流文化圏研究所内

住所/山梨県南巨摩郡早川町薬袋430 〒409-2727
電話/0556-45-2160 ファクシミリ/0556-45-2268